

木南一志様 2.5.9

武漢ウイルス発生以来、暗い

クリスマスが多い世の中において、

小さくはあっても明るくクリスマスに

接して嬉しくなりました。

年金生活をしてゐる人が、まだ

支給されてゐない人10万円の金を、

自分はお母さんがからといて、

困っている斎組の店に、2万円

ボウチ軒に配ったといふ話、

もう一人も年金だけで自分は

生きていけるからといて、

ホームレスの人への支援に出いた

話、このような話ができてきて、

日本人の気高い精神がまだ失われて、
なりました。
このような人が存在する一方で、
立民、社会、共産党の議員は今に至っても党勢を強化すること、自分の地位保全のため活動ばかりして、います。

現代の立民などの野党は、

全部消滅しても、誰を困る人はい

りません。むしろ無くたって

方が国と国民のためになります。

立民の福山、山井、安住、枝野

など国賊とも言える徒です。

旧民主党の政權時代に何を

したかを見れば、彼らの存在

理由は全くないでしょう。

このような党と議員を許して

いる有権者も同罪です。

自民党議には、まことしつかりと

した劣勢を示してもらいたこと

思ひます。
こんな野党の議員が存在して

いるのも、自民党の責任です。
朝日、毎日、中日、沖繩二社
など極左マスコミの横行も
国家を弱体化させています。
このような彼が存在できなくなら
社会にして、きたのです。

鎌山秀三郎 拝